

第7回全国在宅医療会議 WG	資料
平成30年9月26日	2-1

国民への在宅医療に関する普及・啓発について小グループにおける議論

1. 議論の経緯

国民への在宅医療に関する普及・啓発について、WG 内で「小グループを構成し具体的な取組について集中的に議論すること」となったことから、小グループにおいて2回の議論を行った。

そして、入院が必要な状態となる前に在宅医療に関する知識を得ておくことによって、外来へ通院できなくなった場合や退院後の療養の場や方法を選択する際の選択肢の一つとしての在宅医療に対する理解が深まるよう普及・啓発のリーフレットを作成することとなった。

2. リーフレットの目的

高齢者が、住み慣れた地域で暮らしている時期に、必要となる可能性のある在宅医療についての情報と知識を得ることを目的とする。

3. リーフレットのコンセプト

- ・ 在宅医療について、療養の1つの選択肢として情報提供を行うものとする。
- ・ 多様な住まいにおいて提供される在宅医療を想定して作成する。
- ・ 自治体や医療機関等からの情報提供の際に使用できるよう簡易なものとし、三つ折り両面印刷1枚の様式で作成する。
- ・ 自治体や医療機関等が地域の実情等によってカスタマイズできるサンプルとして提供できるものとする。

4. リーフレットの対象

外来へ通院中の高齢者

5. リーフレットの活用方法

- ・ 在宅医療の普及・啓発を図ることを目的としてリーフレットを作成し、厚生労働省ホームページ上のサイト「在宅医療の推進について」にリーフレットのパワーポイント版を掲載し、必要に応じ加工して活用できるようにする。

- ・都道府県や医療・介護関係団体に対して、リーフレットを広報に当たって御活用いただくよう周知する。
- ・リーフレットの設置場所は、診療所・病院の外来や薬局等を想定している。

【小グループ（国民への普及・啓発について）】（構成員（敬称略、五十音順））

- ・荒木 暁子 日本看護協会
- ・江澤 和彦 日本医師会
- ・佐藤 保 日本歯科医師会
- ・西澤 寛俊 全日本病院協会
- ・新田 國夫 全国在宅療養支援診療所連絡会会長
- ・山口 育子 ささえあい医療人権センターCOML
- ・吉田 カ久 日本薬剤師会
- ・事務局 厚生労働省